

「防災行政無線屋外スピーカーからの定刻放送音源変更について」への意見

●意見

1. 曲も聴き取れない

スピーカーの側以外では山々に反響し、何かが鳴っている…程度のレベルで、曲の判別は不可。これは音源変更前も同様で、家の中にいれば生活音や窓の締切で更に聴こえず、折角の発想であるが、曲にする意味をなさない。

又、残念な事に電子音の様で、Vn（ヴァイオリン）とPf（ピアノ）の音にも聴こえず…。

（回答）

このたびは、お忙しい中、ご意見をお寄せいただきありがとうございます。

本来は有事の際の情報伝達手段であるため、どうしても楽器そのものの音の良さまでを伝えることができないこと、ご理解いただけますと幸いです。また、お住まいの地域は山壁に挟まれており、屋外スピーカーから離れたところだと聴こえが悪くなってしまいます。その点も併せてご考慮いただければ幸いです。

2. 夜21時は必要か？

朝、昼、夕方の定刻放送は理解出来るが、深夜に入ろうとするこの時間に流す意味や必要性を感じない。（過去のアンケートで、現状でいいと云う声が多かったと聞いたが、果たして考えての意見なのか？）

（回答）

放送時間については、昨年度、5集落を対象に行ったアンケートにて、21時の放送を中止する希望があったのは、全体の約2.5%（8件）でした。アンケートの自由記述に定刻の放送を望む声もあり、現時点では従来通りの放送時間と回数を行うこととしています。

3. 定刻放送の目的と意義

昔からの慣習で、屋外作業をする人達への時報としての役割はあった。

それは良いとしても、上記の観点から、時報代わりや稼働確認なら曲にしなくても普通にチャイム音で構わないと思う。

著作権料も発生しているだろう事も踏まえ、音源や施策について再考すべきと思うが、如何なものか。

（回答）

今回の音源変更を行うにあたり開催したコンサートには約70名の方が来場し、選曲しました。また、令和4年度には防災行政無線の放送に関するご意見を伺う機会を設けたうえで実施しています。現時点では皆様が選んでいただいた音源を使用していきますが、今後、新たに追加・変更する際にもご意見を伺う機会を設ける予定ですので、その際にもよろしく願いいたします。